

# 決算報告

## 平成16年度

西条市の一般会計、特別会計、企業会計

# 財政状況をお知らせします

市民の皆さまへ決算のごあいさつ



西条市長  
伊藤 宏太郎

平成16年度の新たな西条市の決算がまとまりましたのでお知らせします。

今回の決算は、合併後の平成16年11月1日から平成17年3月31日までの5カ月間の収支について行ったものです。

決算額は、一般会計が、歳入262億9439万円、歳出240億5590万円で、差し引き22億3849万円の剰余(余り)となっています。このうち翌年度へ繰り越した事業に充てるための財源1億2355万円を除いた実質収

支では、21億1494万円の黒字となっています。

各特別会計の決算状況やその他の概要は、別記(8ページ)のとおりとなっています。

平成16年度は、合併前の旧団体から引き継いだ主要幹線道路や公園の整備、小・中学校の教育環境の改善などを実施するとともに、たび重なる台風災害の早期復旧に向けて積極的に取り組みました。

今後とも、市民参加と効率的な行政運営に心がけ、皆さんとともに地域住民の融和と一体感の醸成を推進し、元氣あふれる「ひとづくり」、新市の活力を生み出す「しくみづくり」に、積極的に取り組んでまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

## 予算・決算とは？

予算とは、1年間の収入(歳入)と支出(歳出)に関する見積りをまとめた「計画」のことです。決算とは、実際の収支をまとめた「実績」に当たります。

## 市の会計は3種類

### 一般会計

福祉や教育、道路整備など、市政運営の基本となる会計です。

### 特別会計

国民健康保険や介護保険など、一般会計と区分する必要がある特定事業の会計です。

### 企業会計

企業経営という観点から、独立して経理する会計です。

※本文中の金額は、1万円未満を四捨五入しています。  
市民1人当たりの計算は、平成17年3月31日現在の人口(116,259人)を元にしてあります。

## 平成16年度の主な事業



丹原高知線道路改良事業



神拝小学校校舎建設事業



小松中学校校体育館建設事業



東予運動公園建設事業

# 平成16年度一般会計 決算額

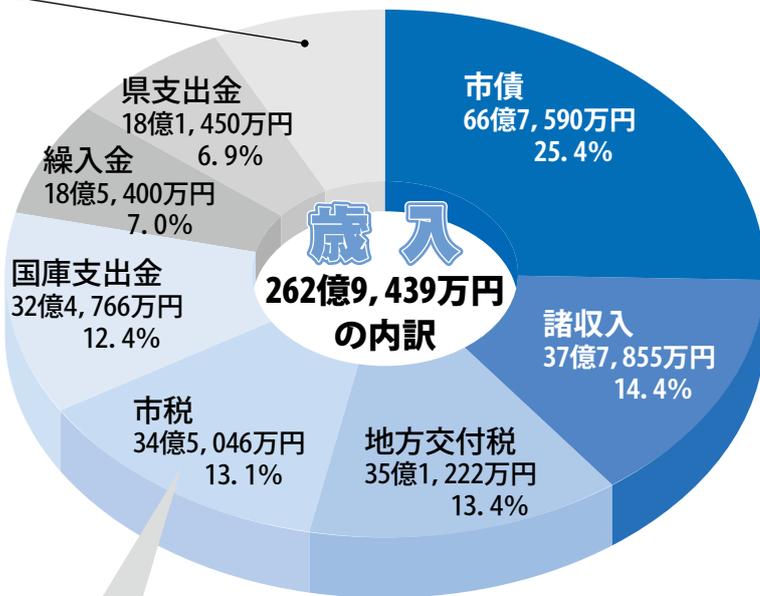
**予算額** 302億 849万円

**歳入** 262億9,439万円

**歳出** 240億5,590万円

- 歳入歳出差引額（歳入－歳出） 22億3,849万円… A
- 平成17年度へ繰り越すべき財源 1億2,355万円… B
- 実質収支額（A－B） 21億1,494万円

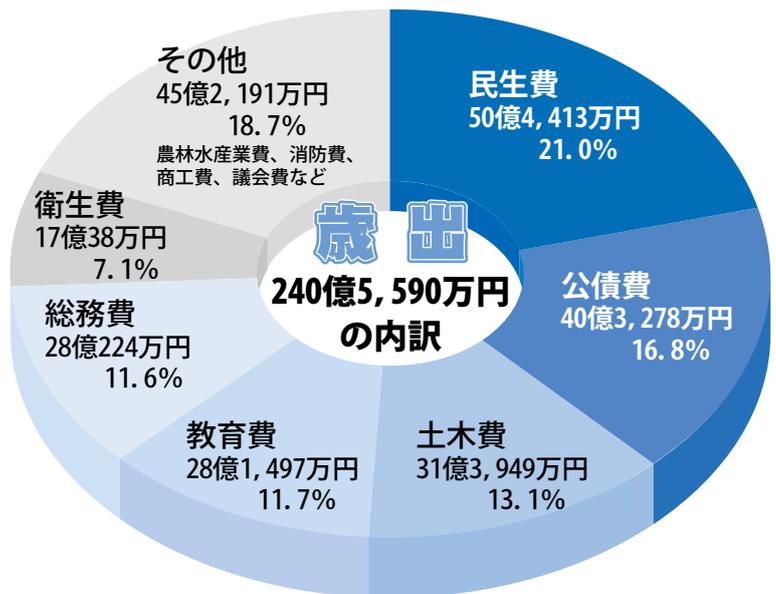
その他 分担金・負担金、使用料・手数料など  
19億6,110万円 7.4%



- 市債：特定の事業を行うために、国などから借り入れたお金です。
- 諸収入：合併前の旧市町からの決算余剰金や、市の貸付金で返済されたお金などです。
- 地方交付税：市の財政状況に応じて国から交付されたお金です。
- 市税：市民税や固定資産税など、市民の皆さんに納めていただいたお金です。
- 国庫支出金：特定の事業を行うために、国から交付された負担金・補助金などのお金です。
- 繰入金：市が保有する基金の取り崩しなどで繰り入れたお金です。
- 県支出金：特定の事業を行うために、県から交付された負担金・補助金などのお金です。
- 分担金・負担金：市の事業で特定の利益を受けた人に負担していただいたお金です。
- 使用料・手数料：市の施設の使用や、住民票の交付など、特定の行政サービスを受けた人に負担していただいたお金です。

市税の負担を市民1人当たりで計算すると、その負担額は29,679円になります。内訳は、市民税14,375円（48.4%）、固定資産税12,677円（42.7%）、市たばこ税2,547円（8.6%）、軽自動車税61円（0.2%）、入湯税19円（0.1%）となります。

- 民生費：社会福祉や医療助成など、安定した社会生活を保障するために使ったお金です。
- 公債費：国などから借り入れたお金（市債）の返済などに使ったお金です。
- 土木費：道路、河川、公園、市営住宅などの整備や維持管理に使ったお金です。
- 教育費：幼稚園や小・中学校の整備、社会教育や保健体育など、教育全般に使ったお金です。
- 総務費：市庁舎の維持管理や、戸籍・徴税・選挙・監査事務など、市の総括的な事務に使ったお金です。
- 衛生費：健康診断や各種検診、ごみ処理など、健康で衛生的な生活環境を保つために使ったお金です。
- 農林水産業費：農業、林業、水産業の振興に使ったお金です。
- 消防費：消防や救急業務に使ったお金です。
- 商工費：商工業の振興や観光PRなどに使ったお金です。
- 議会費：議会の運営などに使ったお金です。



歳出（使った額）を市民1人当たりで計算すると、その額は206,916円となります。内訳は、福祉の充実に43,387円（21.0%）、市の借金返済に34,688円（16.8%）、道路や公園の整備に27,004円（13.1%）、教育と文化に24,213円（11.7%）、市の運営に24,103円（11.6%）、防災や災害復旧に18,437円（8.9%）、農林水産業や商工業の振興に18,203円（8.7%）、健康づくりと環境衛生に14,626円（7.1%）、議会の運営に2,255円（1.1%）となります。

市民1人当たりのお金の使われ方は？

## 平成16年度特別会計 決算額

会計区分	予算額	歳入	歳出	差引(歳入-歳出)
国民健康保険	58億7,546万円	54億3,643万円	51億7,604万円	2億6,039万円
老人保健	66億4,143万円	63億2,412万円	63億9,769万円	△ 7,357万円
介護保険	40億5,020万円	39億5,915万円	38億7,247万円	8,668万円
うち介護保健事業勘定	38億1,363万円	37億1,332万円	36億7,758万円	3,574万円
うち介護サービス事業勘定	2億3,657万円	2億4,583万円	1億9,489万円	5,094万円
簡易水道事業	3億1,859万円	3億 270万円	1億5,358万円	1億4,912万円
公共下水道事業	27億2,585万円	26億 597万円	25億6,326万円	4,271万円
小規模下水道事業	5,034万円	4,003万円	4,003万円	0円
港湾上屋事業	535万円	535万円	406万円	129万円
ひうち地域振興整備事業	1億2,963万円	1億 988万円	1億 988万円	0円
土地開発事業	1,634万円	1,613万円	1,613万円	0円
小松地域交流事業	9,215万円	8,156万円	6,728万円	1,428万円
本谷温泉事業	5,712万円	4,806万円	4,528万円	278万円
住宅新築資金等貸付事業	8,962万円	8,485万円	8,485万円	0円
畑地かん水事業	1,905万円	1,245万円	17万円	1,228万円
庄内財産区	685万円	276万円	123万円	153万円
壬生川財産区	266万円	269万円	39万円	230万円
合計	200億8,064万円	190億3,213万円	185億3,234万円	4億9,979万円

## 平成16年度企業会計 決算額

### 水道事業会計

収入(収益)	2億3,030万円
支出(費用)	3億 762万円
差引(収入-費用)	△ 7,732万円
企業債の現在高	56億2,974万円

### 病院事業会計

収入(収益)	17億3,255万円
支出(費用)	18億7,481万円
差引(収入-費用)	△ 1億4,226万円
企業債の現在高	35億8,884万円

### 市の借金(市債現在高)

会計区分	現債高
一般会計	485億7,293万円
特別会計	261億1,737万円
介護保険	1億4,754万円
うち介護保険事業勘定	6,367万円
うち介護サービス事業勘定	8,387万円
簡易水道事業	10億5,414万円
公共下水道事業	235億1,386万円
小規模下水道事業	1億9,249万円
ひうち地域振興整備事業	10億4,640万円
住宅新築資金等貸付事業	1億6,294万円
合計	746億9,030万円

### 市の財産(市有物件)

土地	3,448万6,955平方メートル
建物	51万2,007平方メートル
基金	80億9,806万円
有価証券	1,474万円
出資金	2,034万円
債権	4億6,736万円

### 決算報告の詳しいお問い合わせは

市庁舎本館 財政課  
TEL0897-56-5151  
財政第1係 内線2252  
財政第2係 内線2255